

# 第10回HANDA CUP・プロボウリングマスターズ

9月22~24日/品川プリンスホテルBC



▲奥様(右)の叱咤も効果を発揮?

今年で第10回を迎えたプロボウリングマスターズだ が、そのうち8回目のステップラダー進出と抜群の相性 のよさを誇る高橋延明(23期・高尾スターレーン)が、第 5回、第6回大会に続く3度目の優勝を飾った。(主催: (公社)日本プロボウリング協会/国際スポーツ振興協会)

今大会にはプロ112名、ア マ188名が出場したが、その なかには桑田佳祐さんや村田雄 浩さん、黒田アーサーさんの姿 もあった。

予選、準決勝、そして12名 による総当たりの決勝ラウンド ロビンを経て決勝ステップラ ダーに進んだのは、過去9回の 出場で7回ステップラダーに進

出と、驚異的な相性のよさを見 せる高橋が、途中から独走で トップシードを決めたのをはじ め、栴檀稔、宮崎淳、そして ディフェンディングチャンピオ ンの大友仁の4名。

#### 4位決定戦

2フレをともにスプリットで オープンフレームを作るなど、 大苦戦だったが、ダブル以上が 年 ん底だったそうだが 相性の

1個もなかった大友に対し、 ターキーが1個、ダブルが2個 の宮崎が205:169で勝ち上 がった。

#### 3位決定戦

1フレ宮崎がいきなり⑦⑩と 割れれば、栴檀は②④⑤を力 バーミスでともにオープンのス タート。その後も一進一退で宮 崎が1ピンリードで迎えた10 フレ、栴檀がストライク8本ス ペアで先に投げ終えると、宮崎 もストライク8本スペアで 187:186と、1ピンのリード を守り切った。

## 優勝決定戦

4位決定戦、3位決定戦とは 一転、ストライクの応酬となっ た。ターキースタートの宮崎を 高橋が2フレからのフィフスで 逆転すると、宮崎も6フレから ターキーで肉薄するが、9、

10フレとストライクが切れた 宮崎に対し、高橋は「9フレは 外に失投してしまったけど、あ んな薄めでストライクになって くれた」と、運も味方に8フレ からオールウェーを決めて 267:236と快勝、3度目の チャンピオンの座に就いた。

### 高橋のコメント

準決勝は伸ばせなかったけ ど、予選の後半1221(5G)を 打って貯金があったので、気持 ちの余裕があった。ラウンドロ ビンは途中からできすぎぐらい ⑩ピンがよく飛んでくれた。優 勝決定戦は、久しぶりの優勝が かかっていたので、緊張で膝が ガクガクしていた。今年は調子 が最悪で、優勝の瞬間は珍しく ウルっときた。この大会は10 回中8回ステップラダー進出で すか…、奇跡ですよ。なぜです かね。みんながぼくに優しくし

てくれるからです かね。(優勝ボー ル:STORMクラッ クス・プライム)

優勝決定戦

高橋 延明

宮崎



上出来」と宮崎





## アマチュア・大会ダイジェスト

# 第6回全国長寿ボウラー大会 6月10日/東京ドームBC 90 代の部は 96 歳の奥谷賢一郎さんが優勝

リング大会は、90歳代の部に 11名、80歳代の部に59名が 参加して行われた。

90歳代の部は、奥谷賢一郎 さん(千葉・ときわ平BC)が、 1G目は111だったが、2G目

第6回全国長寿ボウラーボウ に167、3G目は153を打っ もに96歳だった。 て、トータル431で優勝した。 ちなみに4ピン差で2位の村田 清さん(山口・くだまつボウ ル)、さらに2ピン差で3位の篠 田實さん(千葉・本八幡スター

-ン)までの、上位の3人と

80歳代の部は、過去2年齋 川稔さん(茨城・大学ボウル)が 優勝していたが、今年は永田孝 雄さん(山梨・ダイトースター レーン双葉)が601で、齋川さ んを10ピン抑え優勝した。



▲90 歳代の部入賞者 ▲80 歳代の部入賞者 (ABBF) 第46回全国実業団個人選手権

# 各部門とも僅差の大熱戦

第46回全国実業団個人選手 権大会は、一般男子(97名)、 シニア男子(158名)、女子 (75名)の3部門で争われた。

一般男子部門は、予選7G目



にパーフェ クトを出し てトップ通 過の吉田大 祐選手(名 古屋支部・ 大同特殊

鋼)が、決

勝は予選2位の佐々木銀次選手 (佐野支部・プロショップたま や)との競り合いを23ピン差退 ける2700で優勝を飾った。

シニア男子部門は、予選を



1987で4 位通過の新 井雄史選手 (新座支 部・富士フ イルム)が、 決勝1G目 に279を

叩いてトップを走る本望工選手 (東京支部・警視庁)に肉薄する と、その勢いのままトータル 2718で優勝を飾った。

女子部門も、予選1回戦から 3回戦まで目まぐるしく順位が 入れ替わる接戦だったが、予選 1位通過の鳥居苗美選手(越谷 市部・鈴栄建設)が、予選2位



の大西陽子 選手(東京支 部・住友生 命)の追い¦ 上げを3ピ ン差振り切じ 優勝した。

## 2019グローバルトーナメント(9月8日/新狭山グランドボウル) 全団体加盟のJBOが主催

137

157



▲各部門優勝者、左から一般男子・ 久保田、一般女子・松丸、シルバー 男子・塩川、シルバー女子・湯 本の各選手

全ボウラー団体が加盟するJ BO(日本ボウリング機構)が 主催する『nanaco杯2019グ ローバルトーナメント』が、 191選手が参加して行われた。

手(神奈川·NBF)が716を ン差の589で優勝を飾った。

打って、吉田慎選手(東京・J BC)を30ピン抑え優勝した。 松丸澄子選手(千葉·NBF) と中島梨沙選手(東京·JBC) の白熱のマッチレースとなった 一般女子部門は、726の松丸 選手が1ピン差振り切った。

年齢ハンデが採用されたシ ルバー部門は大接戦だったが、 男子は塩川民雄選手(埼玉·N BF)が山口行雄選手(東京・ NBF)を8ピン差退ける639 で優勝した。女子は湯本友子選 手(栃木・BPAJ)が藤田光 一般男子部門は、久保田武選 江選手(東京・JLBC)に1ピ

# 第47回全日本トリオフェスティバル 予選最下位通過からの逆襲



▲1 ピン差での予選通過から「まさか 優勝できるとは思わなかった」と口を 勝ち進むと、優勝決定戦でも山 揃えた

予選A、B各シフトの上位16 る2618で;チーム、計32チームが決勝 トーナメントで優勝を争った

が、快進撃を見せたのは、Aシ フトのぎりぎり16位で予選を 通過した松尾均・塩沢博昭・林 佐智江選手チーム(長野・新飯 田オークラボウル)。すべて 600アップの安定した内容で 本朝子 · 三浦明恵 · 山本剛選手 チーム(埼玉・芝グランドボウ ル)を666:643で下して一気 に頂点に駆け上がった。